

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	都市・地域経済学（Urban and Regional Economics） 2036022-068					担当教員	鯉江 康正 （コイエ ヤスマサ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
都市経済学や地域経済学は経済理論を基礎とする経済学の応用分野である。都市経済学が主として都市問題を扱うのに対して、地域経済学では都市や農村を含めた地域の問題を幅広く扱う。本講義では都市経済学や地域経済学の基礎的な概念や手法をわかりやすく解説し、都市や地域の問題を解決するための手がかりを学修する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業で説明した事項について、長岡市や他の市町村を訪問した時に自ら体感し、理解と興味を深めること。また、学修活動を確認するために、課題の提出を求める。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「ミクロ経済学」の知識が必要である。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 都市化の原因を経済学的視点から理解する方法を身に着ける。 (ii) 都市集中、都市の成長と衰退のメカニズムを理解する。 (iii) 都市における土地問題や外部不経済の影響を理解する。 (iv) 長岡市の総合計画や、都市計画、住宅政策の概要や方向性を理解する。 (v) 住宅と産業立地、住宅問題と政策、交通問題の理論を理解する。 (vi) プロジェクトを評価するCBAの概要を理解する。									
⑥ テキスト（教科書）									
テキストは使用しない。授業時間にレジュメを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
宮尾尊弘（1995）『現代都市経済学 第2版』日本評論社（ISBN4-535-55020-4）									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		10%			30%		100%
(i) 都市化の原因を経済学的視点から理解する方法を身に着ける。	10%		2%			5%		17%
(ii) 都市集中、都市の成長と衰退のメカニズムを理解する。	10%		2%			5%		17%
(iii) 都市における土地問題や外部不経済の影響を理解する。	10%		2%			5%		17%
(iv) 長岡市の総合計画や、都市計画、住宅政策の概要や方向性を理解する。	10%		2%			5%		17%
(v) 住宅と産業立地、住宅問題と政策、交通問題の理論を理解する。	10%		2%			5%		17%
(vi) プロジェクトを評価するCBAの概要を理解する。	10%					5%		15%
フィードバックの方法	課題は採点して模範解答を添付し返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
取り上げたトピックスに対する興味を深める意味でも、自分ならばどうするかを考える機会を増やしていくと共に、課題を出すことによって、学生の理解度を高めていく。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	都市経済学・地域経済学の位置づけ	配布資料	都市経済学・地域経済学の対象と都市化の意味を理解する。	30分
2	地域と都市化（資源の不均衡分布の影響、規模の経済、交通費	配布資料	伝統的経済理論がおいている仮定の整理。資源の不均衡分布、規模の	90分

	と取引費用の影響)		経済、交通費と取引費用を考慮した都市化の理解。課題の提出。	
3	都市集中のメカニズム①（交通費と集中）	配布資料	市場志向型産業と原料指向型産業による都市集中のメカニズムの理解。	60分
4	都市集中のメカニズム②（競争と集中、都市集中のパターン）	配布資料	ホテルリングのモデルによる店舗立地のメカニズムの理解。中心地理論による都市の階層構造の理解。課題の提出。	90分
5	都市の成長と衰退①（都市の成長分析：需要主導型・供給主導型成長、需給混合型成長）	配布資料	需要主導型の都市成長と供給主導型の都市成長、需給混合型の都市成長の理解	60分
6	都市の成長と衰退②（都市の衰退分析）	配布資料	都市の衰退過程および衰退過程における都市政策の理解。課題の提出。	90分
7	都市の土地問題①（日本の土地問題、土地サービスと地代）	配布資料	日本の地価の推移と地価が高い理由および問題点の理解。土地サービスの需要曲線と供給曲線、地代の決定の理解。	60分
8	都市の土地問題②（地価と土地課税）	配布資料	土地保有税、土地のキャピタル・ゲイン課税の影響の理解。課題の提出。	90分
9	都市公害と対策（外部不経済の存在）	配布資料	外部不経済が土地利用にもたらす影響の理解。混合土地利用が生み出す外部不経の理解。課題の提出。	90分
10	土地問題（長岡市総合計画、長岡市都市マスタープラン）	配布資料	長岡市総合計画や都市マスタープランで扱われていることの概要を理解し、その基礎となっている土地利用を考える。	30分
11	産業と住宅の立地（産業立地、住宅立地、産業と住宅の同時立地）	配布資料	地域における産業立地、住宅立地、産業と住宅立地を地代との関連から理解する。課題の提出。	90分
12	住宅問題（需給均衡モデルと不均衡モデル、住宅の衰退と再開発）	配布資料	日本の住宅問題を理解し、需給均衡と不均衡の影響を把握する。住宅の衰退と再開発について、欧米型と日本型の違いを理解する。課題の提出。	90分

13	住宅政策（都市住宅政策の概観、需要側と供給側の住宅政策）	配布資料	所得分配政策と資源配分政策を概観し、家賃統制政策の影響を理解する。さらに、公共住宅政策、所得移転・家賃補助政策、持ち家助成政策、人口流入抑制政策、都市再開発政策の概要を知り、その影響を理解する。	60分
14	交通問題（交通手段選択、交通混雑の分析）	配布資料	交通手段の選択と需要について理解する。市場均衡と最適交通量の決定メカニズムを理解し、混雑解消方法を検討する。課題の提出。	90分
15	費用便益分析	配布資料	割引現在価値の考え方を理解したうえで、純便益法と費用便益比法の違いを把握する。	60分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。毎回の講義で質問感想シートを配布し、次の講義の最初にそれに対する解説を行い、学生の理解度を高めていく。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
前職の民間シンクタンクでは、「整備新幹線の経済効果分析」「道路整備の効果と評価に関する調査」「公共投資の九州地域経済に与えるインパクト分析」などの調査研究活動に従事してきた。また、「長岡市総合計画策定委員会」「長岡市都市計画マスタープラン策定委員会」「長岡版広域道路ビジョン懇談会」「長岡市住宅政策マスタープラン改定検討会議」「地域資源発信拠点整備検討委員会」などの委員を歴任している。	
実務経験と授業科目との関連性	
シンクタンクにおける経験や審議会の委員の経験から、各テーマについて多くの具体例を説明できる。たとえば、「都市集中のメカニズム」では、全国の都市がどのような経緯で成長してきたのか、交通施設整備が地域にもたらした効果などの解説を事例に基づいて行う。また、「都市公害と対策」では、実際にそれらを避けるために、長岡市において土地利用がどうなっているのかを都市計画総括図を示すことにより、説明していく。	